

令和7年度一般介護予防事業契約に向けた検討

上位5事業者

下位5事業者

事業名	実施場所	定員	登録者数	頻度	実施回数	R5年度実績					単価/人・回		人/回			出席率 (vs定員)		出席率 (vs登録者)		
						参加人数	男	女	延人数	予算	決算額	R5	R4	R5	R4	利用人数伸び率	R5	R4	R5	R4
うるかむ事業	本町小	20	18.5	月3回	36	30	12	18	459	2,345,538	2,345,538	5,110	7,470	13	9	138%	64%	46%	69%	50%
	南公民館	20	12.3	月3回	33	16	0	16	303	2,580,789	2,580,789	8,517	8,298	9	9	103%	46%	44%	75%	72%
	和光ホーム	20	8.4	月2回	24	15	1	14	160	1,045,668	1,045,668	6,535	8,501	7	5	130%	33%	26%	79%	61%
	わここの丘	20	13.6	月2回	24	18	0	18	260	1,420,609	1,420,609	5,464	8,769	11	7	160%	54%	34%	80%	50%
	サポートセンター広沢	20	22.1	月3回	37	28	6	22	435	883,673	883,673	2,031	2,099	12	12	101%	59%	58%	53%	53%
	桜の里	20	19	月2回	24	23	0	23	340	1,088,260	1,088,260	3,201	3,455	14	13	108%	71%	66%	75%	69%
	リーシェガーデン和光	20	11.8	月4回	47	22	2	20	375	2,093,507	2,093,507	5,583	5,247	8	8	96%	40%	42%	68%	70%
	オアシス和光	20	11.3	月3回	35	13	2	11	310	1,226,533	1,226,533	3,957	10,221	9	3	258%	44%	17%	78%	30%
	ひかりのさと	20	9.6	月2回	23	10	0	10	84	643,192	643,192	7,657	7,068	4	4	84%	18%	22%	38%	45%
	翔裕館	20	26.5	月2回	72	36	5	31	1,463	5,041,600	5,041,600	3,446	4,208	20	14	145%	102%	70%	77%	53%
いつまでも元気塾	白子コミセン	13	29	月4回	48	36	8	28	1,147	1,001,862	1,001,862	873	1,299	24	16	146%	184%	126%	82%	57%
いきいき教室 (本町元気塾)	坂下公民館	13	30.5	月4回	48	32	3	29	1,128	1,030,462	1,030,462	914	1,148	24	19	126%	181%	144%	77%	61%
3B体操	本町小	15	34	月6回	54	34	4	30	472	600,000	540,000	1,144	1,325	9	9	98%	58%	59%	77%	78%
喫茶サロン	本町小	20	24	月2回	20	24	12	12	174	1,246,458	1,246,458	7,164	6,359	9	10	84%	44%	52%	36%	43%
あくていびていあつぷ	新倉高齢者福祉センター	12	7.2	月3回	15	8	3	5	97	1,228,065	1,228,065	12,660	9,747	6	8	77%	54%	70%	90%	117%

令和7年度は廃止を予定している事業とその理由

オアシス和光 出席率が低く、1人当たり・1回あたりの金額が高い。令和5年度は1人当たりの金額は低額となったが、定員に対する参加人数が少ない状況は続いている。北エリアの貴重な資源ではあるものの、地域包括支援センター職員からの評価が特段高いわけではなく、送迎の調整が難しいといった意見も聞かれた。当該事業者は要支援認定者に向けた通所Aも展開しているため、今後は、うるかむ事業は廃止し、通所Aとしての受け皿の拡大および支援の充実を目指すため事業所とともに検討を進める予定である。

ひかりのさと 1人当たり・1回あたりの金額も高く、出席率が低迷。地域包括支援センター職員からの評価では、同じうるかむ事業を展開しているリーシェガーデン和光との距離が近く、有効活用ができていないことがわかった。

喫茶サロン 地域包括支援センター職員からの評価では、栄養について学ぶ機会として重宝されている一方で、1人当たり・1回あたりの金額が高く、出席率が低い。会場まで徒歩で行けるエリアに限られることや、月2回の実施でさらに学童と施設を共用しているため、定期開催が難しい現状がある。来年度以降、本町小福祉交流室で行う喫茶サロンとしての活動を中止し、当該事業者が受託する和光市介護予防拠点まちかど健康相談室の出張事業を拡充、市内全域で栄養強化型の介護予防事業が展開できるよう事業者と調整中である。

あくていびていあつぷ講座 ゲームアクティビティや創作など利用者からの評価が高い事業である。しかし、会場の広さの関係で大々的な募集ができないことや、期間限定の事業であることなどから利用人数が少なく、1人当たり・1回あたりの金額が高額となっている。今後MCIレベルの認知症高齢者が増加することが見込まれており、運動・栄養・認知の観点から介護予防のアプローチをする複合型事業の拡大が必要である。当該事業者は通所型サービスCも受託しており、その評価も非常に高いものであることから、今後は現在期間限定で行っている通所型サービスCを年間通して実施できるようにするなど通所型サービスCの拡充に注力していただくよう事業者と調整予定である。